

暗号化・復号化

\$ 序論

電子メールでファイルを送るとき、そのファイルを他人に見られたくない場合があります。例えば、企業秘密のファイルとか、通信販売で入手した怪しげな写真ファイルとか、の場合です。このような場合、これらのファイルを暗号化して送付する必要が生じます。

本アプリケーションはファイルを暗号化し、また本アプリケーションで暗号化されたファイルを復号化するものです。

\$ 暗号化

複数のファイルを暗号化する場合は、ファイル圧縮ツールを使って、あらかじめ1個の圧縮ファイル (LZH、ZIP等) を作成しておきます。

1. 暗号化するファイルを、適当な一時ホルダー (ディレクトリ) にコピーします。
2. <暗号化>ボタンを押します。
3. すると、暗号化するファイルを選択するダイアログが出ますので、暗号化すべきファイルを選択します。
4. 次に、暗号化を行うときのキー・ファイルを選択するダイアログが出るので、キー・ファイルを選択します。

注:

- * 本アプリケーションを初めて使用する場合は、<アプリケーション指定の既定のキー・ファイルを使用>を選んでください。
 - * 2回目以降の場合は、<アプリケーション指定の既定のキー・ファイルを使用> か <ユーザー指定の下記のキー・ファイルを使用> か、のいずれかを選べます (但し、1回目の暗号化で出来たキー・ファイルを保存している場合)。
 - * なお、<ユーザー指定の下記のキー・ファイルを使用> を使う場合は、選ばれたキー・ファイルは、エディット・ボックスに表示されます。
5. エラー無く 暗号化が行われた場合は、暗号化が行われた旨のメッセージが出ます。

\$ 復号化

1. 復号化するファイルとキー・ファイルとの両方を、適当な一時ホルダー (ディレクトリ) にコピーします。

注:

- * 復号化するファイルが、既に手持ちのキー・ファイルと完全同一のキー・ファイルを用いて暗号化された場合は、そのキー・ファイルは既に一時ホルダーに存在するので(削除していなければ)、復号化するファイルだけを一時ホルダーにコピーします。
2. <復号化>ボタンを押します。
 3. すると、復号化するファイルを選択するダイアログが出ますので、復号化すべきファイルを選択します。
 4. 次に、復号化を行うときのキー・ファイルを選択するダイアログが出るので、キー・ファイルを選択します。
- 注:
- * 復号化するファイルが、既に手持ちのキー・ファイルと完全同一のキー・ファイルを用いて暗号化された場合は、そのキー・ファイルは既に一時ホルダーに存在するので(削除していなければ)、<アプリケーション指定の既定のキー・ファイルを使用>で、そのキー・ファイルを選んでください。
選ばれたキー・ファイルは、エディット・ボックスに表示されます。
5. エラー無く復号化が行われた場合は、復号化が行われた旨のメッセージが出ます。

\$ ファイル名の例

暗号化前 (または、復号化後) ファイル:

abcdefg.pqr

暗号化ファイル:

abcdefg_pqr.____

キー・ファイル:

abcdefg_pqr.KEY

***** 重要 *****

出来あがった暗号化ファイルのファイル名、および、キー・ファイルのファイル名、は変更しないでください。

\$ その他

暗号化したファイルのサイズが、電子メールでの送付に対して大き過ぎる場合は、暗号化したファイルを、「ファイル分割・結合」のツールを使ってファイル分割し、それらを送付すると良いでしょう。

© 神田 公生